



体調から知る 子どものこと

医師 青井 輝希



こんにちは。滋賀家庭医療学センター小児科/総合診療科の青井輝希（あおい てるき）です。

今回は、小学校中学年から中学校の年代で患者さんの数がどんどん増えている「起立性調節障害」のお話をさせていただきます。

皆さんの周りで、朝学校に行こうとすると「頭が痛い」「お腹が痛い」「めまいがする」「しんどくてベッドから起き上がれない」・・・といった症状で困っているお子さんはいらっしゃいませんか？

昼から夕方にかけて症状は改善してきますし、土・日・祝日には何の症状も出ないことが多いことから、昔はサボリや怠慢と言われてきました。

でも最近、これらの症状が、思春期特有の自律神経失調の諸症状であることが分かってきています。自律神経とは人間の身体の臓器の中で、無意識に働く機能を司る神経です。皆さんのが「パッと」立ち上がった時に頭から血が引いて倒れずにいられる（血圧の自動調節機能）のも、食べたものを完全自動で消化吸収してお通じとして出してくれる（胃腸の自動蠕動機能）のも、全ては自律神経が正常に働いてくれているからなのです。



さて、思春期のお子さんは見た目が分かりづらいですが、非常にダイナミックな変化が体内では生じており、それに自律神経が付いていけずに不調をきたします。そのため、先ほど挙げた様々な症状として現れてくるわけです。

身体の症状は、自律神経から発せられる「SOS」サインでもあります。サボリや怠慢として適切な関わりがされないままだと、徐々に症状は悪化していき、ついには学校へ行く心のエネルギーまで無くなってしまうでしょう。

どうか皆さんの周りでこういった症状に苦しんでいるお子さんがいらっしゃったら、一度は病院への受診を勧めてみてください。全く異なる病気が稀に隠れていることもありますし、また起立性調節障害であれば諸症状へのお薬の手立てや、病院以外の相談できる窓口へお繋ぎできることもあります。

どうぞ、ご遠慮なくご相談ください。いつでもお待ちしています。





ジフテリアについて

看護師 宮井 由里子

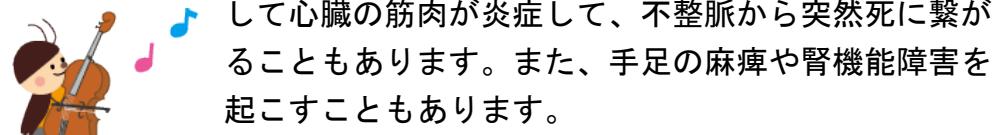
子どもの予防接種の中にジフテリアに対するワクチンがあります。先輩の看護師に聞いてみましたが、ジフテリアの患者さんは見たことがないそうです。予防接種が定着してきた今、予防できる病気が一気に増えてきました。

ジフテリアはジフテリア菌を病原体とするジフテリア毒素によって起こる上気道の粘膜感染症です。現代ではほとんど見かけなくなった感染症ですが、かつては多くの命を奪った恐ろしい病気でした。日本では1999年以降の発症例はないそうです。

ジフテリアの症状は喉の痛み・発熱・咳などのかぜに似た症状から始まり、呼吸困難・声がれ・犬吠様咳嗽を引きおこします。合併症と

して心臓の筋肉が炎症して、不整脈から突然死に繋がることもあります。また、手足の麻痺や腎機能障害を起こすこともあります。

昔と比べて今はたくさんの予防接種があります。この時期はインフルエンザワクチンと新型コロナワクチンが始まっています。予防できる病気はぜひワクチン接種を受けてください。



医師の不在のお知らせ

【11月】

- ・4日（火）～14日（金）……………喜多医師
- ・7日（金）……………中村医師
- ・10日（月）～15日（土）……………富田医師
- ・10・11・19・25日……………一岡医師
- ・21日（金）……………大竹医師
- ・26日（水）……………清水医師

【12月】

- ・2日（火）……………清水医師
- ・8日（月）……………永嶋医師
- ・17日（水）・23日（火）……………一岡医師
- ・29日（月）～1月3日（土）……年末年始のため休診



マイナ保険証での受付をお願いいたします

当院ではスマートフォンのマイナ保険証に対応しております。
マイナ保険証での受付をお願いいたします。

インフルエンザ・新型コロナウイルスの予防接種をおこなっています。

インフルエンザワクチン・新型コロナワクチンの接種が始まっています。詳しくはホームページをご確認ください。

糖尿病教室のご案内

10月26日（日）、彦根市で開催の糖尿病ウォークラリーは、雨天の為屋内のレクリーションとなり、スタッフ含め10名で参加してきました。参加してくださった皆さん、ありがとうございました。

12月13日（土）14時～16時で「糖尿病教室」を開催いたします。参加希望の方は当日に弓削メディカルクリニックのラ・シエル（駐車場入って正面の建物）へ当日直接お越し下さい。

